

AQRX No.3200 外部用クリヤー

AQRX No.3205 外部用フラット

木質建造物（木質住宅の外壁・窓枠・デッキ・その他、木質エクステリア製品）の外装仕上げにおいて、木地透明仕上げに対する要望は根強く見られます。従来の木地透明仕上げでは耐候性が悪く、劣化した塗膜の剥がれが汚いということが指摘されておりました。

本品は美しい仕上がり、耐候性を兼ね備えた高性能水性塗料であります。

§ 使用方法

基本的に原液で塗装して下さい。たっぷりと刷毛に付けて頂ければ、刷毛さばきよく塗装できます。粘度を下げたい場合は水で薄めることができます。（有機溶剤の使用はできません。又薄めすぎると、求める耐候性を発揮できないことがあります。）使用後の用具は水で洗浄して下さい。ただし、乾いてしまった用具は水で洗いにくくなりますので、その際はラッカーシンナーetc.を御使用下さい。

§ 調合割合

基本的に原液で塗装して下さい。希釈する場合には下記調合内の希釈で御使用下さい。

外部用クリヤー	100
水道水	0～20

§ 艶消度合

	3分消	5分消	7分消	8分消
フラット	15	40	70	100
クリヤー	85	60	30	

§ 乾燥性目安

塗布量 80～100g/m²(84-104ml/m²) 気温20

指触乾燥 30～40分

指圧乾燥 2時間～4時間

条件によって乾燥状況はかわりますので参考として下さい

い

§ 使用上の注意

本品は水性塗料であり、気温0以下では凍結の恐れがあります。凍結しても元に戻りますが、できるだけ凍結させないように保管して下さい。又、5以下での塗装や、多湿の際の塗装は仕上がりや塗膜性能に問題が出る場合が有りますので、できるだけ避けて下さい。尚、使用前に容器を振り動かして特にフラットは良くかきまぜてください。

§ 塗装工程（例）

工程	使用塗料	乾燥時間	塗布量	備考
素地調整	P150サンドペーパー			
下塗	外部用クリヤー	2～4時間	100g/m ²	刷毛塗り
上塗	外部用クリヤー	4時間以上	100g/m ²	刷毛塗り

条件によって塗布量はかわりますので、目安として下さい。

ただし塗布量が少ないと、求める耐候性が発揮できない場合があります。1回の塗装による塗布量が少なくならざるを得ない場合には3回塗りをお奨めします。

§ 塗膜性能

項目	結果	条件
耐酸性	○	5%酢酸水 スポットテスト 24 時間
耐アルカリ性	× 黒変	5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24 時間
耐水性	○	水道水 スポットテスト 24 時間
耐アルコール性	○	60%エタノール水 スポットテスト 24 時間
耐溶剤性	○ ×	塗料用うすめ液 スポットテスト 24 時間 キシレン スポットテスト 24 時間
耐マジック性	黒× 赤×	24 時間後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒○ 赤○	24 時間後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒○ 赤×	スポットテスト 24 時間
耐湿熱性	○	300 cc沸騰水入りビーカー 1 時間放置
鉛筆硬度	3 B	ガラス板 5 ミル 20 /60%にて 11 日養生

カバ合板 クリヤー 2 回塗装 20 /60%にて 1 2 日間養生

§ 各種塗膜への密着性

下塗り塗膜	研磨あり	研磨なし
ワシンフロア	○	○
Pux5430 クリヤー	○	○
ワシンMフロア	○	○
ラッカークリヤー	○	○
アンダーシーラー	○	○
外部用ウレタンクリヤー	○	○
アクレックス外部用クリヤー	○	○
アクレックス木部用クリヤー	○	○
アクレックス フロア	○	○
アクレックス 白木	○	○
ポアーステイン オーク 原液	○	○
ポアーステイン オーク 1/1	○	○

これは実験室データであり、実際には研磨して頂くことをお勧めします。又、下地がはつきりしない場合は試し塗りして頂くことをお勧めします。

ポアーステインはふき取りの有無

§ 耐 候 性

試験内容	A	屋外暴露	南面 45° 傾斜	8 カ月
	B	耐候性促進	サンシャイン W.O.M	500 時間 ~ 1000 時間
	C	耐候性促進	キセノン W.O.M	500 時間 ~ 1000 時間

素 材 杉 単 材

塗 料	水 希 釈	塗 布 回 数	A	B		C	
				500 時間	1000 時間	500 時間	1000 時間
AQRX 3200 外部用クリアー	0	1 回	×	デ-タなし	デ-タなし	デ-タなし	デ-タなし
AQRX 3200 外部用クリアー	0	2 回		○	○	○	×
AQRX 3200 外部用クリアー	0	3 回	○	デ-タなし	デ-タなし	デ-タなし	デ-タなし
AQRX 3200 外部用クリアー	20	2 回	~ ×	○	○		×
AQRX 3200 外部用クリアー	100	2 回	×		~ ×	×	×
G-アクア 3200 外部用クリアー	0	1 回 1 回	○	○	○	○	○
ガードラックアクア レジューサー	0	2 回	×		~ ×	×	×
ワシン外部用ウレタン(溶剤型)	0	2 回		○			×
A 社 水性外部用クリアー	0	2 回	×	○	~ ×	×	×
B 社 溶剤型外部用クリアー	0	2 回	×	~ ×	×	×	×

水希釈は塗料 100 に対しての量 ガードラックアクアはメープル色

塗装回数が少ない、希釈度合いが大きい、塗布量が少ないと、耐候性が劣るということがわかります。よって十分な塗布量を確保すると共に、やむを得ず塗布量が少ない場合は 3 回塗りをお奨めします。ただし、塗布量が多く厚膜になり過ぎると、逆にスケーリング（膜の剥離劣化）を起こしやすくなりますので、ケースバイケースでお使い下さい。

尚、このデータはテストピースによる試験結果で、実際の物件データではありません。素材による違い、暴露条件の違いによって劣化状態が異なってきます。

§ ガードラックとの組み合わせ

ガードラックを塗装した上に、アクレックスNo.3200外部用クリヤーを塗装する工程を取る場合には下記の点にご注意下さい。

【溶剤型 ガードラックGの上に塗装する場合】

劣化していないガードラックGの上に塗り重ねる場合は、研磨をして下さい。研磨しないと密着不良となる場合があります。

【水性 ガードラックアクアの上に塗装する場合】

ガードラックアクアを塗装、乾燥後、できるだけ早めに塗り重ねて下さい。密着不良となる場合があります。

本来、透明仕上げをするための本品ですが、着色タイプと組み合わせることで、更に優れた耐候性を見せます。ガードラックアクアの仕上がりを光沢のあるものにした場合等に、お使い下さい。

(塗装工程 例)

工 程	使 用 塗 料	乾 燥 時 間	塗 布 量	備 考
素 地 調 整	P150サンドペーパー			
下 塗	ガードラックアクア	2 ~ 4 時間	80g/m ²	刷毛塗り
上 塗	外部用クリヤー	4 時間以上	100g/m ²	刷毛塗り

条件によって塗布量はかわりますので、目安として下さい。

ただし塗布量が少ないと、求める耐候性が発揮できない場合があります。